



白鷺の伝説  
伝云、  
古此湯少し湧出して并漕たり  
鷺の足かたはなるが  
常々来りて足を浸す  
幾程となく平癒したり  
故に此所を鷺谷と云

## 道後温泉の歴史

各地の温泉場には、源泉の発見に由来する伝説が残されていますが、道後温泉にも興味深い伝承があります。脛に傷を負って苦しんでいた一羽の白鷺が岩間から噴出する温泉を見つけ、足を浸したところ、傷は完全に癒え、元気に飛び去ったというものです。これを見た人たちは大変不思議に思い、入浴してみると、爽快で疲労が回復するとともに、病人もいつのまにか全快したことから、盛んに利用されるようになりました。伝承に由来する、白鷺の足跡の残った鷺石が現在、放生園に保存されています。



玉の石／出雲の国の大国主命と少彦名命が伊予の国を旅したときのこと。急病に苦しむ少彦名命を入浴させるとたちまち元気を取り戻し、喜んだ命は石の上で踊りだしたそうです。伝説の玉の石が本館北側に保存されています。

### 改札口奥の階段を上り敷物の黄色に沿って 霊の湯三階個室



霊の湯三階個室

大人1,550円 小人770円 [1時間20分以内]  
6時～22時 (20時40分で礼止め)  
霊の湯入浴のあと、3階にある個室が利用できるリッチなコース。湯上がりに道後名物坊っちゃん団子を味わいながらサギ模様の浴衣でなごむのは最高の気分。(神の湯入浴可・又新殿観覧可)

### 改札口奥の階段を上り敷物の赤色に沿って 霊の湯二階席



霊の湯二階席

大人1,250円 小人620円 [1時間以内]  
6時～22時 (21時で礼止め)  
霊の湯入浴と、少人数でゆったりくつろげる休憩室のセット。浴衣と赤いタオルが貸し出され、お茶とお菓子のサービスがある。時間内なら神の湯にも入れる。(又新殿観覧可)



霊の湯男子浴室

## 道後温泉本館 入浴ガイド

道後温泉の泉質：アルカリ性単純温泉。  
平均42度前後とやや熱めのお湯が肌をすべすべに美しくする美人湯です。

### どちらのお湯に入りますか

#### プライベート感覚でくつろぐ

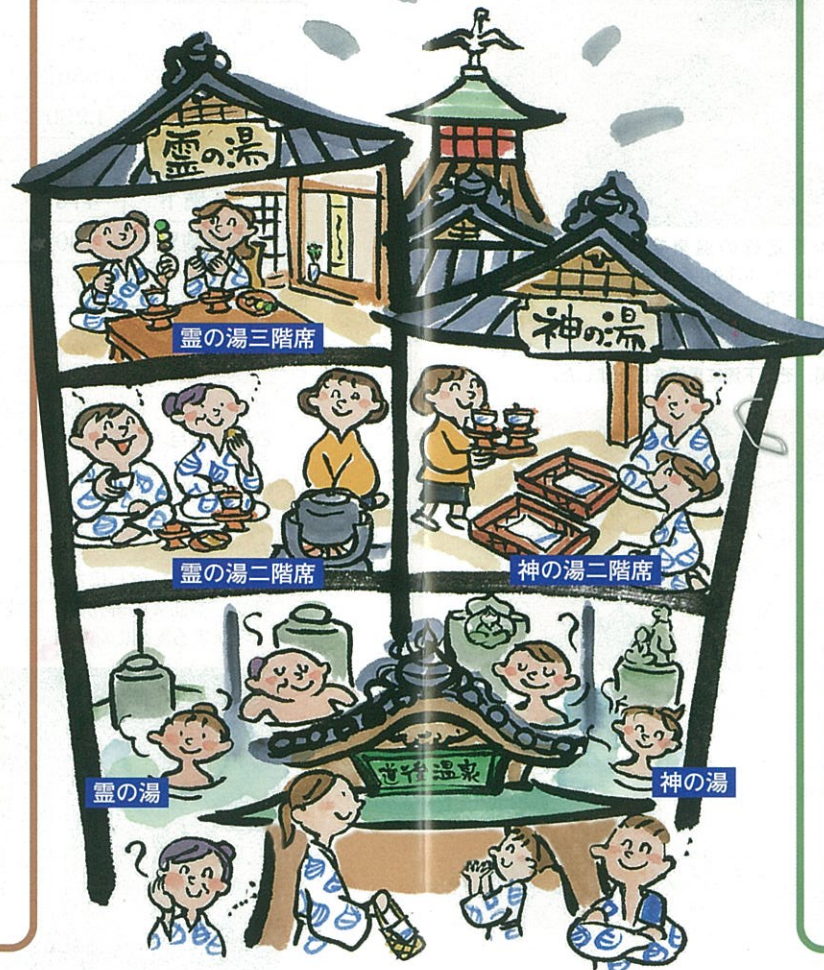
#### 霊(たま)の湯

男女各1室の浴室は神の湯に比べてこごんまりとしているが、庵治石と大島石を使った浴槽に壁は大理石と、高級感たっぷり。

#### 銭湯感覚で味わう気軽さ

#### 神(かみ)の湯

浴室は男湯2室、女湯1室。女湯の浴槽中央には道後温泉の伝説の神様、大国主命と少彦名命の像が立っている。



### 改札口奥の階段を上り敷物の青色に沿って 神の湯二階席

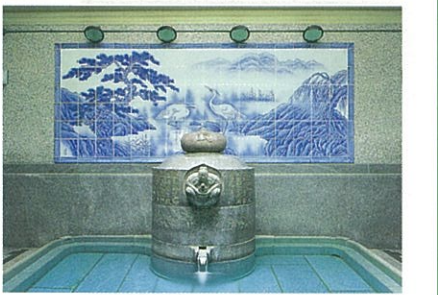


神の湯二階席

大人840円 小人420円 [1時間以内]  
6時～22時 (21時で礼止め)  
入浴後、55畳の2階大広間で休憩。湯玉模様の浴衣に着替えて、お茶とお菓子がサービスされる。

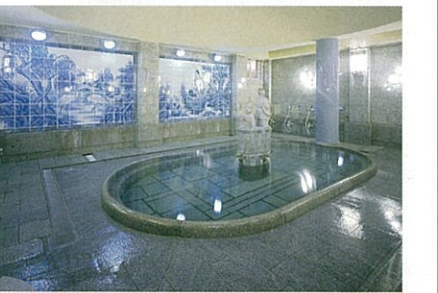
### 改札口から直接脱衣所へ

#### 神の湯階下



神の湯男子東浴室

大人410円 小人160円 [1時間以内]  
6時～23時 (22時30分で礼止め)  
一般の銭湯と同じ、温泉に入るだけのコース。浴室の壁には温泉はじまりの白鷺伝説や玉の石の神話が砥部焼陶板画で描かれている。



神の湯女子浴室

### しんろかく 振鷺閣

本館三層楼の屋上にある振鷺閣は、古典的な建築に一段と風趣を添えています。閣内の広さは約1坪、周囲の窓は赤いギヤマンをはめた障子で、夜になると中央天井の吊電灯が灯り、湯の町の夜空に異彩を放っています。また格天井から吊り下げられた太鼓は、時刻を告げる刻太鼓(ときだいこ)として、開館を告げる朝6時に6回、正午には12回、夕方6時には6回ドーンドーン



と打ち鳴らされ、温泉情緒を醸し出しています。この刻太鼓の音は環境庁(当時)の「残したい日本の音風景100選」に選定されました。

### ゆうしんでん 又新殿

明治32年に桃山時代の建築様式を模して建てられた、日本で唯一の皇室専用浴室です。前室、御居間に続いて玉座の間が造られ、玉座の脇には武者隠しの間も設けられて警備していました。昭和25年、全国巡幸の折に昭和天皇がお使いになりました。又新殿観覧：大人260円 小人130円 [案内時間内] 6時～21時30分 (21時で礼止め)

